

Rotary



白河西ロータリークラブ

SHIRAKAWA WEST ROTARY CLUB

創立1986年

2023～2024年度クラブ目標

『みんなが楽しい ロータリー』

会長 佐藤 幸彦
幹事 村上 堅二



世界に希望を生み出そう

2023-24年度国際ロータリーテーマ



第1789回例会

令和6年1月18日(7:30~20:30)



職業奉仕委員会担当移動例会
「国会に行こう」



▶第1789回例会出席状況 (R6年1月18日)

Ⓐ 出席免除を受けていない正会員数	54名
Ⓑ 出席免除の適用正会員数	14名
Ⓓ 全正会員数	68名
Ⓒ ①の出席者数	20名
Ⓔ ①のメイクアップ者数	0名
Ⓔ ②の出席者数	5名
Ⓖ = ③ + ④ + ⑤ (メイクアップ補填後の出席会員数)	25名
Ⓗ = ⑥ - (⑦ - ⑧)	59
Ⓘ = ⑥ / ⑨ × 100 (例会出席率)	42.4%

▶例会日: 第1・第3木曜日(12:30) その他の木曜日(18:30~19:30)

▶例会場: 白河市新白河駅前 東京第一ホテル新白河

▶事務局: 〒961-0957 福島県白河市道場小路96-5 (白河商工会議所内) ☎23-3101 FAX22-1300

本日のプログラム

■移動例会 国会議事堂・防衛省見学

8:00 出発(7:45集合) @新白河駅
(佐々木・櫻井同乗)



○佐藤幸彦会長

皆さんおはようございます。今日は職業奉仕委員会担当移動例会の国会に行こうということで、国会議事堂と防衛省の地下壕ということで。地下壕というのは、あの戦争時代の作った地下大本営ですね。国会議事堂は私、考えてみたら50年ぶりです。15歳の時に中学校の修学旅行で行った記憶がございます。地下壕は本当初めてなんですけど、皆さんも多分初めてかと思うんですけども非常に楽しみにして。また、今回はお世話になりました上杉さんの秘書の方々、大変ありがとうございます。皆さん、怪我のないように行きたいと思しますので、どうぞよろしくお願ひします。

○上杉謙太郎事務所 秘書 佐々木ヒロシ様

皆様、おはようございます。上杉謙太郎事務所の秘書の佐々木ヒロシと申します。本日はよろしくお願ひいたします。自己紹介ということで、ちょっとわたくしの話をさせていただきます。わたくしは出身は秋田県秋田市でございます。18歳の時に大学に行ってまして、東京に行ってまして早稲田大学法学部入学しまして。その後、卒業した後はしばらくサラリーマンをやっておりました。業界が不動産ですとか、マンション管理の業界におりました。仕事が嫌になったところに、ちょうど上杉のほうから声がかかりまして、福島でちょっと秘書がいなくて手伝ってほしいという話をいただきまして脱サラしまして、千葉でマンションを購入して住んでいたんですが、家族、妻と娘をおいて白河市に引っ越して、去年の4月から住民票も移しまして白河市民になっております。今も白河市に住んでおりますので、事務所も会津町ということで、皆様はご存じだとは思いますがそこでやっておりますので、何卒お時間ありましたら遊びに来ていただいても結構ですし、私どものほうからでもできれば皆様の所一軒一軒ご挨拶に回りたいといつも考えております。結果、忙しくてできてないんですけど。ちょっと今日はせっかくのご縁ですので、私のことを覚えていただい

て皆様のほうにご挨拶に伺えればと思っております。何卒よろしくお願ひいたします。

○上杉謙太郎事務所 秘書 櫻井誠様

皆様、おはようございます。上杉事務所、秘書の櫻井と申します。皆様、どうぞよろしくお願ひいたします。私のほうは出身は浜通りの双葉町でございます。震災の前に、前職の転勤の兼ね合いで須賀川のほうに引っ越してきました、須賀川のほうに今13年程住んでおります。前職がヨークベニマルでバイヤーをやっておりました。コンビニとかで売っているセブンプレミアムの開発を主にやっておりまして、その兼ね合いでずっとおったんですけども、去年の1月に本来地元震災復興にちょっと携わりたいという思いがありまして、政治の道に進みたいということで、21年間勤めました会社を退職させていただきました。須賀川の市議選に出させていただきました。自分の力不足で3票足らずに次点になりまして、こうやって留年させていただいております。上杉のほうに拾っていただきまして今必死にいろんな勉強させてもらっております。今後も皆様との関りを密にしながら、いろいろ学んでいければと思いますので、どうぞご指導のほどよろしくお願ひいたします。本日は一日、どうぞよろしくお願ひいたします。

11:30 国会見学スタート

○衆議院議員 上杉謙太郎様



ロータリーの皆様、おはようございます。いつもいつもお世話になってありがとうございます。思い返せば10年前に白河西ロータリーに入らせていただいて、皆様の仲間に入れさせていただいたところから始まって、3年後に当選をさせていただいて、おかげさまで仕事をさせていただいてるのがこの場所であります。10年経って初めて皆様にお越しをいただきまして、本当にありがとうございます。今日はこの後、国会正面で写真を撮って、あとカツカレー、選挙で勝つカツカレーを召し上がっていただきまして国会見学をして、その後一度バスで移動して今度は防衛省を見学をします。この防衛省にも、私が国防部会の副会長をやらせていただいているというのもありまして、それで特別プランで見学をさせていただけることになってます。東京裁判をやった所ですとか、三島由紀夫の事件の場所とか。大本営の地下壕、もうぼろぼろになってる所。そういった所をご覧いただいて、最後は政策課長がいるんですけども、今の日本の防衛政策について45分間簡単にですけどもレクをしていただくことになってます。今日、私も菅家先生も皆様報道でご存じのとおり大変お騒がせして、大変心苦しいところでもありますけれども、また皆様にご協力いただいたパー券の問題で揉めております。ちょこちょこ今日も、それぞれ若手は若

手とかでいろんな会議がありますので、入ったり出たりしてしまうんですけれども、何事もお理解いただけたらありがたいというふうに思っております。そういったところで今日一日ですね、是非国会と防衛省楽しんでいただけたらと、どうぞよろしく願いいたします。ありがとうございます。

○衆議院議員



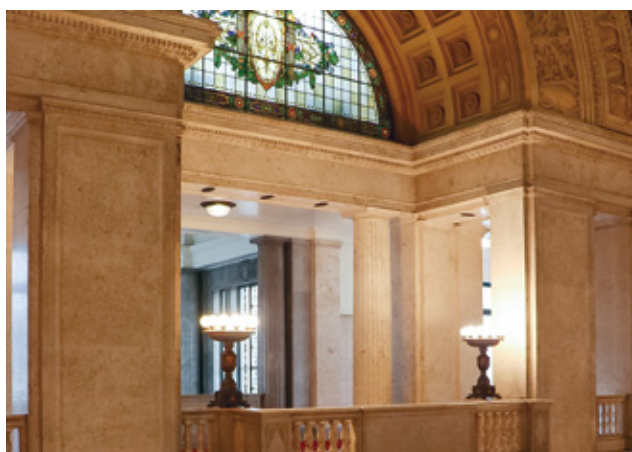
菅家一郎様

皆様、おはようございます。衆議院議員の菅家一郎でございます。今日は国会見学ということで、ようこそいらっしゃいました。心から歓迎とともに、皆様方とお会いできてこんなに嬉しいことはありません。ご承知のとおり、

選挙区が変わって私も県南選挙区になって今、上杉先生にお力いただいております。本当に感謝御礼申し上げます。しっかりと上杉先生と連携を組んでですね、白河そして県南の発展に全力で取り組んでまいりたいと考えているところでありますので、どうか今ゴタゴタやっていますが、雨降り地固まるがごとし、今ドロドロですけど良い形に必ずこれを持ってかなくなりません。責任をもってとにかく頑張ってお皆様の信頼を得るようにしていかなくちゃなりません。能登半島地震でおわかりのとおり、我々政権与党としてしっかりと予算を確保して、迅速かつ確かな対応に今全力で取り組みことに、これもやはり自民党の信頼を得る大事なことだと思いますから。私も東日本震災の時、大熊町の受け入れをして五千人を超えて、学校を作ったり、避難所の旅館、ホテルに住み替えたり、民間の借り上げ住宅に住んでいただいたり、様々な経験を今こそお役に立てるようにアドバイスさせていただいたりして、しっかりと取り組んでいるところであります。どうか今日はそういった意味で歴史的な上杉先生の、防衛のほうの担当してしっかりと一生懸命働いていらっしゃるし、その他の政治活動を本当に頑張っておりますので、どうか今日はそういう上杉先生の活動の一端の中で、おそらく一般の人が入れないようなルートとか、なかなか見学するのが難しいということも含めて、上杉先生が一生懸命皆様方のために準備を整えてこられたわ

けでありますので、有意義な国会見学になって、またロータリーの皆様のお仲間だと聞いてますから、絆を深めてさらにご発展されますようご期待を申し上げて、歓迎のご挨拶とさせていただきます。本日は本当におめでとうございます。よろしく申し上げます。





14:00 防衛省見学
1410-1430 地下壕見学



1440-1520 記念館見学



1600-1645 ブリーフィング

「これからの我が国の防衛戦略」

防衛政策課長 吉野幸治様

(A棟地下1階統幕第2大会議室)

○衆議院議員

上杉謙太郎様

今日一日、ありがとうございました。度々出没してすみません。今、防衛省の中で大本営の跡地と、東京裁判やった所ですとか、あとこの市ヶ谷の防衛省の中を見学されたと思います。お土産、売店も行かれたんですかね。ミリタリーグッズとか、いろいろ各基地の部隊の紀章といますか、そういうのとかもあつたかなと思います。結構普通に暮らしていると、防衛というものは身近に感じる事が全くないと思います。特に我々政治家、自民党の議員の中でもやはり私も皆様にお世話になって当選させていただいて、つまり選挙区を持つてる人にとっては一番大事な政策というのは、経済政策、農業政策、国土交通政策、次に厚生労働政策となつていってしまうんですね。文部科学政策ですか。そうすると、外交防衛っていうのは手を付ける議員っていうのが本当に少ないです。そういった中で、最近ではロシアのウクライナ侵略ですとか、中国がいろいろやらかしてるという問題がありますから、外交防衛に興味を持ってくればはじめた議員も沢山出てきましたけれども。私がまだ当選した時というのは、外交部会も国防部会も部会の中では人気の低い部会でありました。一割ぐらいですかね、そこの族議員になろうという人というのは。それぐらいの分野でありました。しかし、選挙で票にならない外交防衛分野でありますけれども、しかしながら実は最も大事なのがこの外交防衛分野であります。我々が普段、地元で普通に暮らしてられるのは、日本という国が国内の政策はもちろんでありますけれども、アジア最強の軍隊を持って軍隊と言っちゃいけませんけれども自衛隊があるということ。抑止力が働いてるということ。また戦後ですね、新たな外交関係を今まで自民党政権で構築してきた78年間がありました。日本国に対して悪く言う国家は一部ありますけれども、その一部をおいて他にはありません。それだけの外交努力をしてきた。それ故に、日本という国は国家は我が国を取り巻く環境の中では危険な国家が幾つもあります。ロシア、北朝鮮、中国、そういったところから侵略されることなく、今平和をずっと享受しているということでありまして。この仕事というのは、見えなければ見えないほどいいものであります。だからこそ、日本国民は実は戦争も防衛も外交も考える必要がない。考えなくて良かった。これが実は非常に大切なことでありまして、その状態、その政治体制を作ってくることができた。これは自由民主党の政権というのは誇りに思うべきことでありまして。普段生きてる中で侵略されるかもしれない、敵が攻めてくるかもしれない、そういうことを一切考えることなく暮らすことができる。自分の生業、自分の人生を享受することができる国家というのはち

よっとまだ少ないわけでありませぬ。そういった中で、それができている日本。そういう状況を作れているということは、非常に素晴らしいことでもありますし、その仕事は実は最も大事な仕事であります。そういった意味で、わたくしはいろんな意味でこの外交防衛というのはしっかりとやっていかなければならないというのを、もう一つの私の政治家としての大義としましてやらせていただいております。もちろん、皆様に上杉謙太郎と書いていただいている訳でありますから、県南、特に白河市の代表としてあらゆる分野の政策をやっておりますけれども、国道4号線はじめとして。それは国会議員としての半分以上そういう仕事占めますけれども、大切なものであります。それをしながら国会議員として最も国家に仕える者として大事な外交防衛というのは、これからも引き続きしっかりとやっていきたいというふうに考えております。そういった中で、外務大臣政務官をやらせていただいて、これは福島県選出の議員だから輸入規制解除ですとか風評払拭のためにやりなさいと岸田総理に言っていたら外務大臣政務官拝命しましたけれども。あの頃から外交政策、そして防衛政策もやらせていただくようになってまいりました。そして昨年、国防副会長の副部長をやらせていただくことになりまして、吉野課長と、文書課長というのが防衛省の中では国会を担当する課であります。大臣官房文書課というところの課長さんをやってらっしゃって、ずっとわたくしと一緒にやらせてもらいました。副部長というのは、その国防副会場でどんな議論をするかですとか、どんな事をやるのかというのを、役所の人と一緒に調整をしたりする係といひますかですかね。部会長というのは物事を決める、国でいうと防衛大臣みたいなものであります。副部長は副大臣か政務官みたいな役割なんですから、役所の人と一緒に部会長こういうふうに言ってるから、じゃこういう事をやろうかですとか、いろんなことを調整する係であります。そういった中で一年目の国防副部長の時に、特に国会議員がしっかりと足で歩いて各自衛隊の基地ですとか、隊員の人たちがどんな仕事をしているのかというのをしっかりと私たち政治家が見ようということで、特に部隊視察というのを吉野課長と一緒に段取りさせていただいたというのがありました。今2年目になって今度はもっと出世して、防衛政策課長とってこれすごいんですけども、防衛政策全体を取り仕切る課の課長なんです。日本の防衛政策のある意味トップ。めっちゃすごい人です。とても謙虚な方なんですけれども、めちゃうくちゃ頭良くて。逆に防衛省の役人で政策考えてる人って、なんかむすっとしてすごい人かなっていうふうに思うかもしれませんけれども、もう吉野さんみたいなこういう謙虚で真面

目な人が日本の防衛政策をやっているということ時点で、日本国の防衛っていうのは大丈夫だっていうふうには是非思っていたらありがたいと思います。80年前のように軍隊が暴走するということは絶対にありませぬ。そのぐらい今、日本国の防衛省、自衛隊というのは素晴らしい組織になっております。前の組織もすごかったんですけども。そういった意味で、今日吉野課長に短い時間でありませぬけれども、この一年間激動の防衛政策の転換がありました。その一部について、時間限られている中でありませぬけれども。今日のためにアップデートして、この前年末に打ち合わせした時よりも分厚くなっていますので、新しいやつも多分盛り込まれているんだというふうに思ひます。まず、是非日本の防衛政策聞いていただきまして、あとは質疑の時間もありますのでいろいろご意見を頂けたらありがたいと思います。私たちの白河市に「日本工機」さんありますので、防衛装備品の会社企業でもありますので、是非よろしくお願ひします。ということで、最後真面目な授業になりますけれども、眠いかもわかりませぬが是非日本の防衛政策について聞いていただけたらありがたいというふうに思ひます。ということで、私このあと福田達夫先生らと共に、ちょっと派閥のいろんな件の会議がありますので、本当はずっとここで聞いて防衛省からお見送りする予定でありましたけれども、ここで中座するご無礼をお許しいただきまして、どこかのタイミングでロータリーちゃんとお出ませぬので、その時にお酒飲ませてもらえと、よろしくお願ひします。ありがとうございました。

「これからの我が国の防衛戦略」
防衛政策課長 吉野幸治様

